

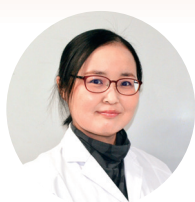
みさき病院 くろさき苑 コミュニティ・マガジン



フォーライフ

For Life

2026
新春号
No.60



みさき病院 院長 矢野 香織

新年あけましておめでとうございます。

昨年度は日本初の女性首相が誕生し、それ自体はジェンダー平等の視点から喜ぶべきことだと思います。一方で、これまでやその後の対応を見ると、平和やジェンダー平等からは遠くかけ離れたことばかりで、暗澹たる気持ちになります。私たちの医療・介護活動は、平和な社会であることが大前提です。ひとたび戦争になってしまえば、私たちの活動はまったく意味のないものになってしまいます。何としてでも戦争だけは食い止めていかないといけないと、気持ちを新たにしました。

1991年に開院したみさき病院は今年で35周年を迎えます。施設が老朽化する中でリニューアルしていくことを検討しています。

これまでよりいっそう職員一丸となって頑張っていくので、患者さん・利用者さん・共同組織の方々も一緒に頑張って、より良い病院としていきましょう。



くろさき苑 苑長 上野 隆登

新しい年の始まりにあたりご挨拶を申し上げます。

旧年中はくろさき苑の運営に際し、皆様には格別のご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。皆様のお力添えのおかげで、職員一同、希望を新たに新年を迎えることができました。

また、くろさき苑は、本年度で開設32年目を迎えることができました。これもひとえに、ご利用者、ご家族の皆様、地域の皆様の温かいご理解とご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

昨年は、当苑をご利用いただく皆様により質の高いサービスをお届けすることを目指し、品質マネジメントシステムに関する国際規格であるISO9001を取得いたしました。本年はこの取り組みをさらに活かし、より一層ご満足いただける介護サービスの提供に努めてまいります。

本年も職員一同、真心をもって日々の業務に取り組んでまいりますので、引き続きくろさき苑をご支援、ご指導賜りますよう、お願い申し上げます。

「医療安全川柳大会」

を開催しました



医療安全管理者 看護師 千葉 喜美子

今年度も「医療安全推進週間」の一環の取り組みとして川柳大会を行い、41句もの医療安全川柳が寄せられました。

応募作品は、全職員へ公開し読み人の想いに共感した川柳に一票を投じて貰いました。「医療安全、何が大切か考える機会になりました」「医療安全への意識が高まった」また、「ここに響きました」「安全について全員が同じレベルであって欲しい」等、感想も寄せられました。そして、厳選なる審査の結果、下記の方々の作品が各賞に選ばれました。

以下、優秀作品においては院内掲示し医療安全の醸成に向けて活用します。



▲表彰者のみなさん

最優秀賞	黒木大輔さん	「伝えたか？ 伝わったかまで 確認を」
優秀賞	小柳智美さん	「何ごとも 基本にもどって 再確認」
優秀賞	大津佐和子さん	「安全は 相手を想う 気持ちから」
入賞	古賀麻奈美さん	「安全は 日々の意識と 振り返り」
入賞	元村健一さん	「ミス防ぐ 職場環境 チーム力」
入賞	吉田素美さん	「患者対応時 仲間の力かりて 安全に！」



クリスマス会



西病棟 看護師 東村 竜希・角 彩乃

西病棟では12月16日(火)にリハスタッフと患者さんでクリスマス会をしました。普段はあまり起きることが少ない患者様も自らホールに出て参加されました。

クリスマス会はサンタやトナカイと体操等のレクリエーションで体を動かし、テーブルではクリームやカラースプレーでデコレーションしたケーキをおいしくいただくなど、楽しそうな声が響きわたりました。



東病棟 介護福祉士 堀上 直樹

東病棟では12月11日(木)に一足早いクリスマス会を開催しました。

病棟スタッフ、リハスタッフがサンタクロースやトナカイなどに扮し登場。この日のために事前にサンタクロースに欲しいものや願い事を書いた紙をクリスマスソングが流れる中、壁に貼ったクリスマスツリーに貼っていただき写真撮影。栄養科手作りのおやつを食べてみんな笑顔で楽しいひと時を過ごされました。



新年会

みさきの丘 介護福祉士 橋本 静香

今年の新年会では、獅子舞や祈祷師によるお祓い、神社でのお参りやおみくじ、手作りの御守り配布、そして毎年恒例の「今年の漢字一文字」などの盛りだくさんの内容となりました。

普段なかなか初詣に行けない患者様も、手を合わせながら嬉しそうな表情を見せてくださいました。

会場には笑顔が溢れ、「楽しかった」「一文字の時は鳥肌がたった」という声が聞かれ、新しい一年を温かい雰囲気を迎えることができました。



▲迫力の獅子舞と祈祷師



▲どのお守りにしようかな



▲今年の一文字はこれ！



▲みんな幸せでありますように

門松作り



みんなで協力して
立派な門松が
できました！！

みさき病院 リハビリテーション科 石松 祐樹

毎年慣例となっている門松作りを今年もリハビリテーション科で入院患者様と一緒に作っています。入院患者様にも飾り付けなどを行って頂きました。入院中でも季節感を感じ、楽しんで頂ければと取り組んでいます。当院リハビリテーション科ではリハビリをするだけの関わりだけではなく、患者様に楽しんでもらえるような行事も企画しています。完成した門松はリハビリテーション室出入りに設置しています。ぜひご覧ください。

餅つき大会



▲みんなで力を合わせて美味しいお餅をつきました

くろさき苑 療養棟1階 介護福祉士 松藤 哲雄

12月5日(金)、くろさき苑のホールで餅つき大会を行いました。周りのみなさんからの「よいしょ、よいしょ」との元気良い掛け声のなか、利用者さんと一緒に餅つきを行いました。その後、ノンアルコールビールや美味しいおやつを味わい、笑顔で元気な1年の締めくくりができました。



材料 (2人分) 1枚 471kcal/塩分1.1g

- 切り餅……………5個
- ピーマン……………1個
- タマネギ……………1/4個
- ウインナー……………3本
- サラダ油……………大さじ1/2
- 水……………大さじ1/2
- ケチャップ……………適量
- ピザ用チーズ……………適量

作り方

- ①お餅を1cm幅に切る。
- ②ピーマンの種を取って輪切りにする。
- ③タマネギは薄切りにする。
- ④ウインナーは斜め切りにする。
- ⑤フライパンにサラダ油をしき餅をランダムに並べ、水を回し入れ蓋をして弱火で蒸し焼きにする。
- ⑥ケチャップをかけ、ピーマン・タマネギ・ウインナーをのせてチーズを散らす。
- ⑦蓋をして弱火でチーズが溶けるまで焼いたらできあがり。



栄養科 調理師
小柳 智美

コメント

お正月のお餅が残っていませんか？
黄粉もち、あんこ餅は食べ飽きた…
そんな時、外はカリカリ、中はモチモチでとても美味しいお餅のピザ！
おかずになる美味しいお餅の活用
法！是非おためしあれ(^_-)- ☆

ポイント

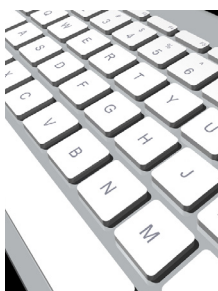
お餅をフライパンに並べるときは、バラバラにランダムに並べると、食べる時切り離しやすいです！

information event & seminar

電子カルテ 更新しました

医療機関において、必須のツールになっている電子カルテが新しくなりました。大きな変更点は、セキュリティ対策が更に進んだこと。一部AIを使用した業務効率のアップ。様々な機能のバージョンアップが施されています。

操作する職員もバージョンアップに励みます。



薬局

情・報・カ・プ・セ・ル

機能性表示食品

みさき病院薬剤科 薬剤師 高道 悠太



サプリメント摂取による健康被害が疑われ、小林製薬が商品を自主回収した事件を覚えているでしょうか。原因とされたのは同社が販売した機能性表示食品「紅麹コレステヘルプ」で、腎疾患などの健康被害が報告されました。機能性表示食品制度は2015年当時の自民党政権下、規制緩和による経済成長戦略として始まりました。混同されがちなトクホは販売までに国の厳しい審査を受ける必要がありますが、機能性表示食品は安全性や期待される効果が書かれた文献を消費者庁に提出するだけで販売許可が得られます。企業にとって都合の良い制度である一方、健康被害の発生を心配する声は当初から挙がっていました。小林製薬の一件後、政府は同制度を一部改正しましたが、国が商品の安全性を審査しない事に変わりはありません。当時の総理大臣は同制度について「現在は国からトクホの認定を受けなければ効果を商品に記載できない。お金も時間もかかるので中小企業はチャンスを閉ざされている。今後は世界一企業が活躍しやすい国を実現する。」と述べていました。サプリメントが簡単に世に出る事による経済効果よりも、それを摂取する国民に対する安全性を重視してほしいものです。